

平成24年度 第2回地域家庭教育推進県北ブロック会議

日時 平成25年1月25日(金)

場所 福島市中町ビル大会議室

県北地区では、昨年6月13日の第1回会議で、子どもの生活習慣の向上を図るために学校・PTA・子どもに関わっている諸団体が連携して取り組むことが大切であるとし、12月9日には地域家庭教育県北ブロックセミナーを開催しました。今回の第2回会議では、今年度の取り組み状況と平成25年度に向けた取り組みの在り方について協議しました。

今年度の取り組みの状況(セミナー報告、各委員の取り組み)



- 地域家庭教育県北ブロックセミナーの報告
 - ・ 講演、3つの連携した取り組み、参加者の感想
- 今年度の各委員の取り組み
 - ・ 地区PTA連絡協議会として、家庭教育推進の講演を実施した。
 - ・ 放課後子ども教室で「あいさつの大切さ」を呼びかけてきたが、市全体でもあいさつ運動に取り組むことになった。
 - ・ 会津の「什の掟」は、言い方を変えて昔から県北でも取り組まれてきたことだ。お年寄りにも子育てに参加するよう呼びかけた。
 - ・ 食育の推進として、マイ弁当デーに取り組んでいる学校も見られた。

など

平成25年度の家教育の推進について

- 効果的な連携した取り組みについて(県北教育事務所社会教育主事)

子どもの生活習慣の向上に向けた学校やPTA、子どもに関わっている諸団体の連携の効果をさらに高めるために、今行っている連携した取り組みを「見直したり、視点を変えたり、少し工夫を加えたり」することが大切であることを提案しました。
- 各委員からの意見
 - ・ 子どもたちを育てていくのに、連携した取り組みができれば一番よいことだ。公立幼稚園との接続は図られてきているが、私立幼稚園の接続も働きかけたい。全体で盛り上がるのが大切である。
 - ・ 連携した取り組みをいろいろな場で呼びかけることが大切である。
 - ・ 保育所や幼稚園などの親が集まりやすい場所で子育ての話をするすることで、熱心でない親にも話す機会が持てた。地域全体で関わることで、多くの親に支援することができる。
 - ・ 地域の連携の和を広げることで、すべての親に家庭教育支援ができるのではないか。
 - ・ 福島は、震災からの復興という同じ目標・同じ問題意識で共有していけるのではないか。
 - ・ 学校の立場では、スポ少や子ども会・育成会との関わりが弱かった。年度当初、話し合いを持ったり、情報交換をこまめにとったりなどしてつながりを深めていきたい。

など、連携に向けた前向きな意見が多く出されました。

- 今後の取り組み
「効果的な連携の取り組み」を県北域内に広げるために、学校やPTA、子どもに関わっている諸団体に積極的に呼びかけていくことにしました。